



案件配信の打ち合わせのため
会社の一室に招かれたしぐれういだったのだが
罨で部屋から出られなくなってしまった

部屋を出るためには
言うことを聞かなくてはならない…

REC



（こんな気持ち悪いおっさんのいう事なんか無視してやる）



「じゃあまずこれを着てもらおうかな」



「は?! こんなに着れるわけないっ……!」

「それだと一生ここから出られないぞ」

「でも、このまま待っていれば誰かが居ないことに気づいて
搜索願を出してくれるはずっ!」

「おやおやカフェに集合したのを忘れたのかな?」

「わしの車でここまで来てるんだから特定されるはずがない」

● REC



「食料もあるしここで二人で暮らすのもいいかもものう」

「……」

● REC





「良く似合ってるじゃないかw
どれ、ちゃんと見たいから何かポーズでも
取ってもらおうかのう」

REC
「うーんどうせなら…」

「ガニ股、脇見せポーズをしてもらおうかw」





● REC

「ぐっ…ぐっ…クソがよお…」



● REC

「そんなじゃだめだめ
もうちよつと股を開いてカメラ視線で」





「そうそうw
あれ、よく見るとおつゆが垂れとるのうw
実は期待してたりしてw」

「……そんなわけないだろ」

REC
「ほれほれその体勢で腰を振って」



● REC



● REC



● REC



● REC



ん





「最高じゃないかww
エッチな格好でドスケベダンスが
できるvenderはそうそう居ないなあ」

REC
（覚えてろよ…絶対許さないからな）



● REC



● REC



ま
ん
ま
ん





「お股が寂しくなってきたじやろ
わしがほぐしてやるわい」

「やめろ変態っ」

REC
「そんな格好で言われてものうw」

シノブ



REC
「指があっという間に奥に入っていくわいW
ドスケベダンスで興奮しちゃったのかなW」
「乳首も引っ張るたびにお股キュンキュンさせちやっってるけど
実はMなのかなのう? W」

「もう…なんで濡れたっちゃやてるのよ…最悪…」



「どれどれほぐれてきたところ
わしは紳士じゃからなゴムをしてっ」と

「えっちはだめっ！」



RET.



● REC



あーっ





REC

(やばっ…このおっさん大きすぎ…)

「すごい締め付けじやわい
大人のセ○クスを教えてやるからのう」

ぐん

ぐん

ズン
ズン
ズン

い
ズン
ズン





ぎん

ぎん

「ほれほれっ」

REC
（こんなおっさん調子づかせたくないのに…
声が我慢できない…）



● REC



あゝん

あゝん

あゝん

あゝん



● REC



● REC



びびり

びびり

びびり



● REC





「わしのち○こを気に入ってくれたみたいで嬉しいわい」

「ういちゃんの膣

ちいこうて奥まで入らず余っとる」

「こんな奥まで突かれて……こんなの……」

REC 「気持ちいいのは分かるがしっっかりカメラ目線でのう」





「いい表情じゃ
強気な顔が崩れるのは何度見ても興奮するのう」

（もお…だめ…気持ちよすぎて何も考えられない…）

REC
「そんじゃまあ仕上げとするか」



おっぱい
ハハハ

● REC 「おうすごいイキっぷりじゃあw
リスナーにも見せてやりたいわいw」

く
ん

く
ん



● REC

あははは



あはは

あはは



● REC



あーっ

あーっ





「ふっ」

「ここまでやったのを撮られちゃったら……
次も呼んだら当然来るじゃろ？」

REC
「……………」



● REC



● REC



● REC



● REC



● REC



● REC



● REC



● REC



● REC



● REC



● REC



● REC



● REC



● REC



● REC



● REC



● REC



● REC

